

第155期 報告書

2015年4月1日～2016年3月31日



OAK
CAPITAL

Oak キャピタル株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期（2015年4月1日～2016年3月31日）における国内株式市場は大きく変動した期間となりました。その間、世界経済の成長見通しが懸念され、これら課題解決のため米国を中心にG7各国は、共同して経済危機を乗り越える取り組みを開始しましたが、世界経済は石油価格の下落、中東紛争による難民問題やテロ事件で不安定な状況が続き、国内経済においても連動する状況下でありました。

しかし、国内上場企業の業績は陰りが見えるものの堅実な成果を上げており、リーマンショック前に戻る好業績を上げる段階まで来ました。今後、震災対応などをはじめとする様々な取り組むべき重要課題はあるものの、日本企業はイノベーションによる新たな成長戦略と改善効果が評価され、海外投資家から大きな期待が持たれています。

これら上場企業の成長を目指した積極的な戦略による、M&Aやイノベーション等への取り組みから、引き続き資金需要の高まりが予想され、資金調達の担い手である当社のエクイティファイナンス引受業務は、より重要性が高まると思われます。

当社は、成長戦略を持った新興市場の企業を対象に事業資金の財務支援と再生企業向けの成長支援を展開することで、当社の社会的責任を果たしてまいります。

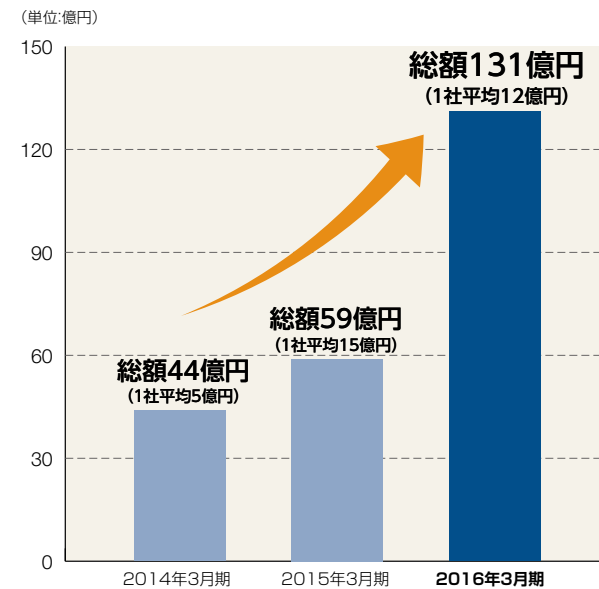
今後とも皆様方の一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2016年6月
代表取締役会長 兼 CEO 竹井博康

業績サマリー

当期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の業績は、営業収益（売上高）54億61百万円、営業利益10億70百万円、経常利益9億6百万円、当期純利益7億61百万円となりました。
当期は、新興市場ならびに中小型市場の上場企業向け財務戦略と成長戦略の支援を行うとともに、企業再生やイノベーションを支援する再生投資に注力し、事業規模拡大に努めてまいりました。
その結果、当期の実績は、上場企業10社に対してエクイティファイナンス引受を行い、新株及び新株予約権の引受けは1社平均約12億円、総額は前期比2.2倍の131億円となりました。

■ エクイティファイナンス引受実績



成長戦略

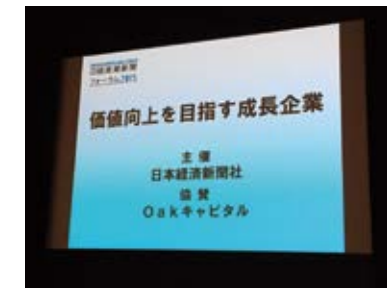
当社は、持続的な成長を実現するため、投資銀行事業に加え、安定的な収益を生む事業を構築してまいります。当社は「企業価値」と「株主価値」をさらに高め、バランスのとれた収益構造を構築し、進化する投資銀行を目指してまいります。

株主還元

さらなる業績拡大を図るとともに、企業価値ならびに株主価値向上に努めてまいります。なお、継続的、且つ、配当性向30%を目指し、株主優待を含め株主還元の充実に取り組んでまいります。

IR活動

当事業や投資に対する興味や関心を持っていただくため、機関投資家向けの活動に加え、東京証券取引所や各メディア、証券会社主催のIRイベントへ積極的に参加出展し、個人投資家との対話の機会創出を図ってまいります。

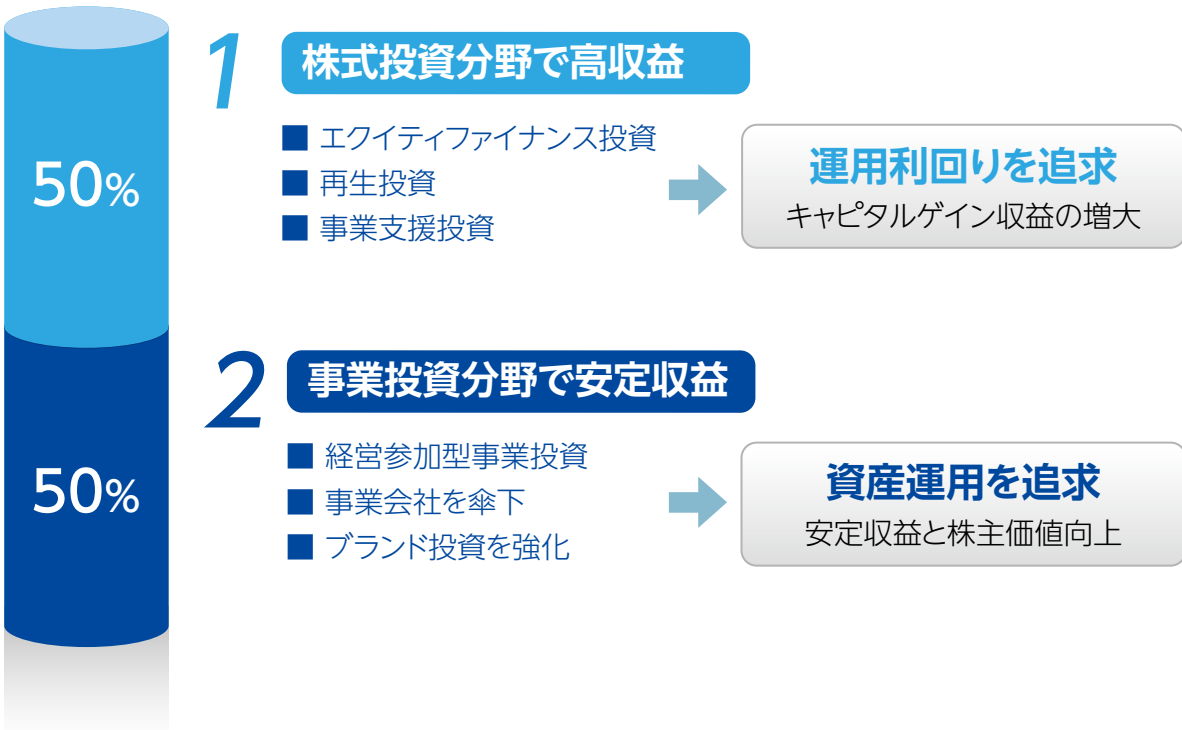


2015.9.11 開催日経産業新聞フォーラム2015



- 投資の多角化により潜在成長力を高める
- 収益構造の改革により、成長力・収益力・安定力を強固にし、株主価値を高める

投資銀行業務は**株式投資**と**事業投資**の**2本柱**



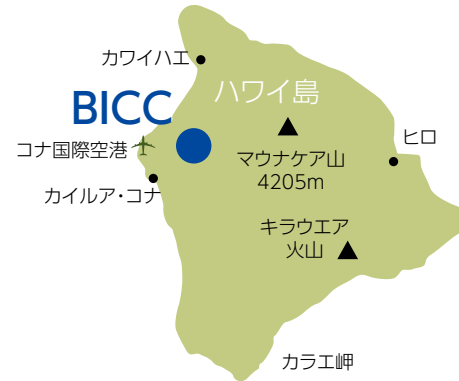
総額 **131** 億円 1社平均 **12** 億円

株式会社TBグループ[東証2部6775] ファイナンス引受額1.7億円(2015年4月実施) LED照明&ECO事業・デジタルサイネージ事業・電子マネーおよびストアオートメーション事業を展開	株式会社ガーラ[東証JQS4777] ファイナンス引受額15.1億円(2015年5月実施) オンラインゲーム開発で培ったノウハウを活かし、スマートフォンアプリゲームの積極的グローバル展開	パス株式会社[東証M3840] ファイナンス引受額15.0億円(2015年6月実施) コミュニティ型市場で通販事業を確立し、既存事業とのシナジー創出を図る積極的戦略を展開
株式会社アエリア[東証JQS3758] ファイナンス引受額12.1億円(2015年7月実施) IT技術を駆使し、ネットワーク・コミュニケーションをキーワードに「ゲーム事業」「IT事業」を展開	株式会社ピクセラ[東証2部6731] ファイナンス引受額14.1億円(2015年8月実施) 「IoT関連事業」「自動多言語翻訳システム事業」「AR・VR事業」の3事業分野を戦略のメインテーマとした事業を展開	株式会社レッド・プラネット・ジャパン[東証JQS3350] ファイナンス引受額20.1億円(2015年9月実施) 全国にホテル事業の拡大戦略を積極的展開
モジュール株式会社[東証JQG3043] ファイナンス引受額3.0億円(2016年1月実施) 大企業の情報システム構築などのITソリューションサービス事業を展開	株式会社ホットリンク[東証M3680] ファイナンス引受額14.0億円(2016年1月実施) 「ビッグデータの分析と活用」による新たなマーケティング手法を展開	株式会社ソフトフロント[東証JQG2321] ファイナンス引受額15.1億円(2016年2月実施) 「コミュニケーション・プラットフォーム事業」と「ネットとリアルとの融合による価値創出事業」を展開
レカム株式会社[東証JQS3323] ファイナンス引受額6.0億円(2016年2月実施) 「強固な顧客基盤と販売力」を活かし環境関連分野を含む成長分野へ進出	パス株式会社[東証M3840] ファイナンス引受額15.0億円(2016年3月実施) 通販事業の拡大に向けて「コミュニティ型マーケット」の確立を目指す	



1997年創業、ハワイ島屈指のリゾートカントリークラブ

Big Island Country Club



ハワイ島は、ハワイ諸島で最大の島であることから“Big Island”の愛称で呼ばれ、ハワイ王朝を統一したカメハメハ大王の出身地でもあります。ビッグアイランドカントリークラブはハワイ島西海岸のカイルア・コナに位置し、標高610メートルの高台にあり、降雨が少なく年間300日が晴天のドライな天候で、景観とさわやかな風と涼しさを感じながらプレーできる、絶好のロケーションにあります。コース設計はピート・ダイでコースは平坦でありながら戦略的に設計され、ハワイでは数少ないオールベントグリーン18Hです。東京ドーム35個分、49万坪のゴルフ場敷地内には国際保護鳥で生息数は1,000羽と言われるハワイ州の州鳥であるネネが生息し、3月～5月には別名「ハワイ桜」としても知られる「ジャカランダ」が咲き乱れるなど、木々に囲まれた自然豊かなコースです。

クラブハウス(建設予定)

正面は太平洋、後ろはマウナケア山の雄大な景色を望め、プレー前後に心地よい空間でお寛ぎいただけます。シャワー・ロッカーが完備されたクラブハウス内のプロショップには、セレクトされた上質なゴルフ用品が揃い、また、敷地内の果樹園・コーヒー農園で育てられた新鮮な商品が並びます。クラブハウス横には芝生が広がり、イベントなどにもご利用いただけます。



果樹園・コーヒー農園を開発

ゴルフ場脇にある23万㎡(約7万坪)の敷地を果樹園とコーヒー農園に開発予定です。

地元ハワイのフルーツ、グアバ・パイナップル・パパイヤ・マンゴー等を栽培、収穫したフルーツでナチュラルジャムを生産します。

果樹園はハワイ島の子供たちをはじめ、地域とのふれあいの場といたします。



分譲別荘

ゴルフ場を囲む47万㎡(約14万坪)の敷地を、ゴルフ会員権付別荘分譲地として開発予定です。

BICC分譲別荘:
ゴルフ会員権付 99区画
1区画 4,815㎡(1,456坪)



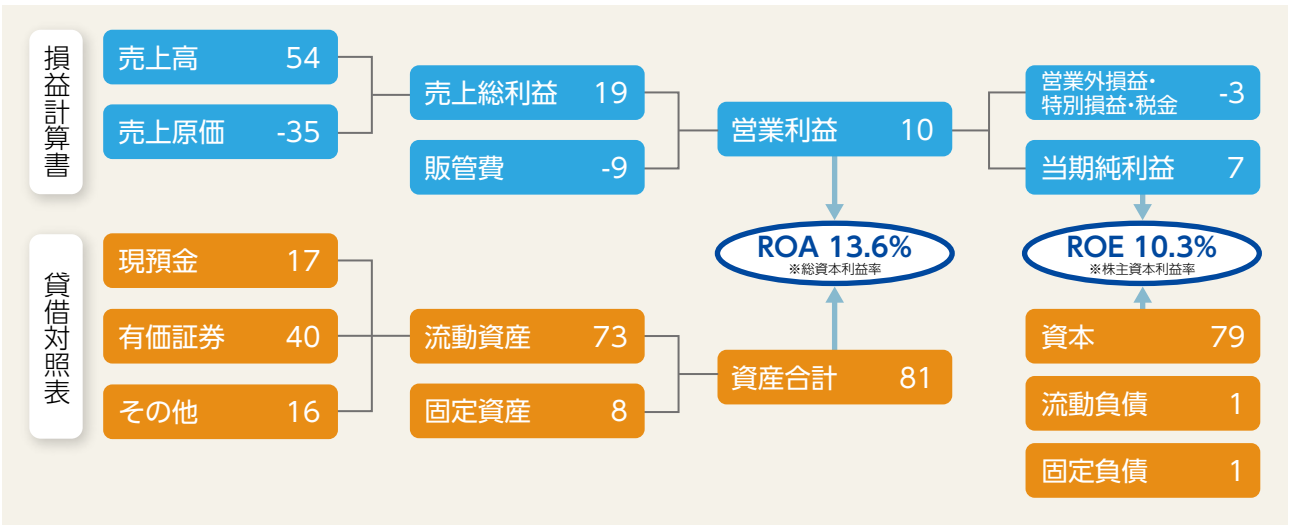
ハワイでウェディング

海沿いの人気リゾート地を眼下に、広大なゴルフ場と雄大なマウナケア山に囲まれ、真っ青な空、爽やかな風を感じながら、クラブハウス横に広がる芝生で一生の思い出に残るウェディングを行うことができます。

挙式後のパーティーでのカトラリーはフランス最高級シルバークリスタルブランドChristofleを使用します。



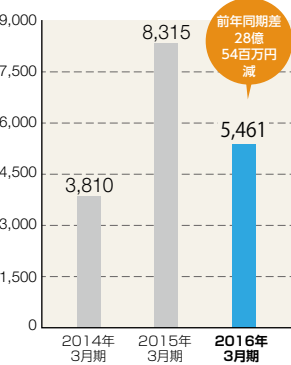
PLとBSの関連図 (単位:億円)



業績の推移

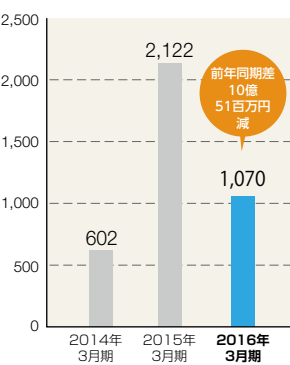
売上高

(単位:百万円)



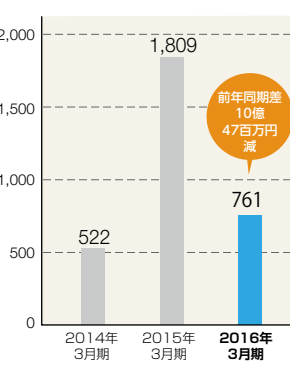
営業利益

(単位:百万円)



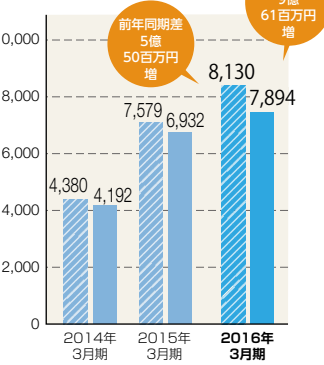
当期純利益

(単位:百万円)



総資産／純資産

(単位:百万円) ■総資産 ■純資産



財務諸表(要旨)

貸借対照表

科 目	(単位:百万円)	
	前期末 (2015年3月31日)	当期末 (2016年3月31日)
資産の部		
流動資産	7,137	7,351
固定資産	437	761
有形固定資産	58	60
無形固定資産	3	2
投資その他の資産	375	699
繰延資産	4	17
資産合計	7,579	8,130
負債の部		
流動負債	551	133
固定負債	95	102
負債合計	647	236
純資産の部		
株主資本	6,305	8,273
評価・換算差額等	615	△390
新株予約権	12	12
純資産合計	6,932	7,894
負債純資産合計	7,579	8,130

Point

資産合計＝

前期末に比べ、5億50百万円増加し、81億30百万円となりました。増加した主な要因は、投資案件及び事業投資案件の増加により、営業投資有価証券及び短期貸付金が増加したためであります。

Point

純資産合計＝

前期末に比べ、9億61百万円増加し、78億94百万円となりました。増加した主な要因は、当社株主に割り当てた第9回新株予約権の権利行使及び当期純利益の計上によるものであります。

損益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
売上高	8,315	5,461
売上総利益	3,121	1,986
販売費及び一般管理費	998	916
営業利益	2,122	1,070
経常利益	1,862	906
特別利益	115	—
特別損失	3	0
税引前当期純利益	1,974	905
法人税等合計	165	144
当期純利益	1,809	761

キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,609	△1,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	△1,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	315	1,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,888	△2,500
現金及び現金同等物の期首残高	1,349	4,237
現金及び現金同等物の期末残高	4,237	1,737

Point

売上総利益＝

既存投資先の企業価値向上を図るための活動が成果に繋がり、売上総利益は19億86百万円、投資収益率は56.9%となりました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フロー＝

上場企業向けエクイティファイナンス投資案件が増加したことにより、営業投資有価証券が増加したため、営業キャッシュフローは△19億6百万円となりました。

会社概要

商号　　〇クキヤビタル株式会社

商号	オカキヤビル株式会社
創業	1868年
設立	1918年
資本金	42億82百万円
市場	東証第2部 3113(上場 1949 年)
主幹事証券	大和証券
会計監査人	監査法人 日本橋事務所
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行

本公司取得/提供:

代表取締役 会長 兼 CEO	竹井 博康	
取締役	秋田 勉	管理本部長 兼 経理財務部長
取締役	槇野 冬樹	投資銀行部長
取締役※1	尾関 友保	元アクセンチュア(株)パートナー
取締役※1	宇田 好文	元(株)NTTドコモ代表取締役副社長
常務執行役員	木戸 康行	投資銀行部
執行役員	磯村 康典	事業投資部
執行役員	細田 和宏	事業投資部
執行役員	小玉 誠一	IR・PR室長
常勤監査役	高橋 英也	
監査役※2	坂井 眞	弁護士
監査役※2	廣瀬 元亮	
監査役※2	上野 園美	弁護士・公認会計士

※ 1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
※ 2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況 2016年3月31日現在

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	53,675,037 株
株主総数	23,364 名

大株主 上位 10名

株主名	所有株式数	持株比率
個人株主	2,274千株	4.24%
エルエムアイ株式会社	2,248	4.19
株式会社SBI証券	959	1.79
竹井博康	895	1.67
日本証券金融株式会社	731	1.36
ツバメ工業株式会社	587	1.10
ゴールドマンサックスインターナショナル	400	0.75
個人株主	383	0.71
個人株主	360	0.67
個人株主	255	0.48

注)持株比率は、自己株式(32,674株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 電話0120-975-960(通話料無料)

● 住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（一部）が振替機関で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほうりが指定した文字またはカタカナで置き換えて、株主名簿に登録いたします。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほうりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株主優待について



■ 対象となる株主様

2016年3月31日付の当社株主名簿に記載された、10単位(1,000株)以上ご保有の日本国内在住の株主様を対象といたします。また、ご保有期間につきましては遡及させていただき、その期間内、同一株主番号で株主名簿に記載された株主様を対象といたします。

■ 株主優待内容

1,000円および2,000円相当のご優待 3,000円相当からのご優待

※画像は2,000円相当のご優待

■ ご保有株式数別優待	■ 保有期間
-------------	--------

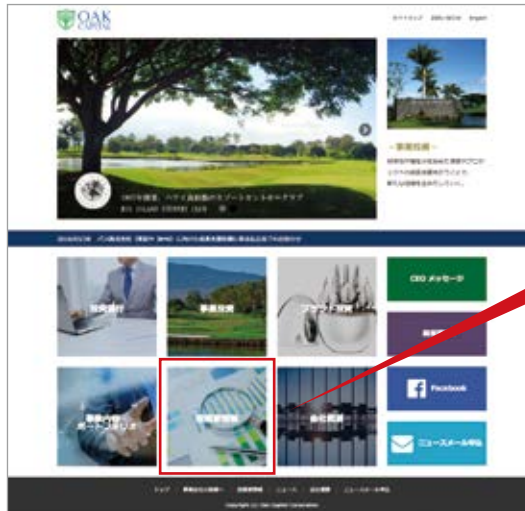
	ご保有期間			
ご保有株式数	2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
1,000株～1,999株	(※)1,000円相当	(※)2,000円相当	3,000円相当	5,000円相当
2,000株～2,999株	(※)2,000円相当	3,000円相当	5,000円相当	7,000円相当
3,000株～4,999株	3,000円相当	5,000円相当	7,000円相当	10,000円相当
5,000株～9,999株	4,000円相当	7,000円相当	10,000円相当	15,000円相当
10,000株～49,999株	7,000円相当	10,000円相当	15,000円相当	25,000円相当
50,000株～99,999株	10,000円相当	15,000円相当	25,000円相当	50,000円相当
100,000株以上	20,000円相当	25,000円相当	50,000円相当	100,000円相当

(※)1,000円および2,000円相当のご優待につきましては、東急百貨店がプロデュースした限定商品「ドゥ マゴ パリ」の焼き菓子といたします。「ドゥ マゴ パリ」は、1884年フランスのサンジェルマン・デ・プレに誕生し、古くはヴェルレーヌ、ランボー、マラルメに始まり、ピカソ、ヘミングウェイなど様々な芸術家が集い、幾多の文学や芸術が育った老舗カフェで、日本国内では東急百貨店が独占ライセンス契約をしています。

■ **実施時期** 2016年6月下旬にお送りする予定です。

IRサイト紹介

URL: <http://www.oakcapital.jp/ir/> または で検索してください。



● 投資家情報



Oak キャピタル株式会社 証券コード：3113

<http://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産赤坂ビル
 本 社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282
 事 業 本 部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811



Facebook

<https://www.facebook.com/oakcapital.jp>